

=====  
本メールマガジン[NEE Mail Magazine]は、経済教育ネットワークより会員の  
皆様にお送りしております。  
=====



◆ NEE Mail Magazine 123号 ◆

-----2019-4-5◆◇

卯月 4月です。新年度のはじまりです。  
今年、天皇が退位、新天皇の即位と時代の区切りの年です。新元号も「令和」  
となることが発表されました。  
経済より政治が表にでてきている昨今ですが、政治を動かすもしくは支える経済  
の動向にも注意を払いたいです。  
そんな今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供  
いたします。

【 1 】最新活動報告

19年3月の活動やニュースを報告します。

【 2 】定例部会のご案内・情報紹介

部会の案内、関連団体の活動、ネットワークに関連する情報などを紹介します。

【 3 】授業のヒント「授業を始める前に」

-----  
【ご案内】今夏も「夏休み経済教室」を開催します  
-----

今夏も、東京証券取引所(日本取引所グループ)との共済で「先生のための夏休  
み経済教室」が開催されます。

■日程：既報

8月5日(月)大阪中学向け(会場：国民會館)

8月6日(火)大阪高校向け(同)

8月8日(木)東京高校向け①(会場：東証ホール)

8月9日(金)東京高校向け②(同)

8月19日(月)東京中学向け①(会場：東証ホール)

8月20日(火)東京中学向け②(同)

■内容：

基本的なコンセプトは「エコノミストと経済の授業をつくる」で、プログラムを  
作成します。高校では新テストと「労働」をテーマとして、新科目「公共」を念  
頭においたプログラムを企画しています。

また、中学では、来年度から始まる新学習指導要領に対応した授業づくりを提案  
してゆきたいと思います。

具体的なプログラムは来月号に紹介する予定です。

---

## 【 1 】最新活動報告

---

■「春の経済教室」を実施しました。

日時：3月16日(土)13時00分～17時00分

場所：慶應義塾大学南館4階445教室

主な内容：「行動経済学を経済教育にいかにかすか」をテーマに、安藤至大先生(日本大学)の講演、河原和之先生(立命館大学他非常勤講師)、杉浦光紀先生(都立井草高校)、大塚雅之先生(府立三国丘高校)の三人の先生の実践報告や授業提案をもとに、活発な議論が展開されました。

第一部 講演「行動経済学を経済教育に活かすか」(安藤至大先生)

(1)安藤先生は、健康に良いメニューの例からナッジの事例まで様々な事例をもとに、現在の行動経済学の知見が社会のなかで活かされている事例を取り上げられ、それがリバタリアン・パターナリズムに基づいていることを明かにされました。

(2)行動経済学の知見を学校で活かす方法には、一つは、授業で紹介して意思決定時の参考にしてもらう方法、もう一つは、生徒の学習や生活の改善を図る方法の二つがあるとして、それぞれの事例をもとに、意思決定の際の活用法に関して説明されました。

(3)学校教育で行動経済学を取り上げる際には、行動経済学が標準的な経済学に取って代わるものではなく、微修正して補完するものという理解をして欲しいと指摘をされ、アメリカの最近の経済学のテキストでの動向を紹介されました。

(4)最後に行動経済学は、登場後は百花繚乱だったが、現在はいくつかの標準的なフレームワークに収斂してきていること、それは、プロスペクト理論と損失回避、保有効果、双曲割引と先送行動、ヒューリスティックとバイアス、自信過剰などであること、行動経済学は、社会をより良いものに貢献できる可能性は高いが、まだ発展途上であることを理解しておいて欲しいと、まとめられました。

第二部 実践報告では三人の先生が次のような内容の発表をおこないました。

(1)「行動経済学を活用した中学校での授業提案」(河原和之先生)

河原先生は、「学ぶ楽しさと生活・政策改善に役立つ学びを行動経済学から考える」として、以下のような授業提案を行ないました。

まず、「ある！ある！こんなこと」の実例から紹介され、続いて、自制力、初期設定の違い、極端性回避、ナッジと環境問題の事例など、ご自身の取材も含めて、行動経済学の知見を活かした四種類の授業の素材となるネタを多数紹介された。

また、『ヘンテコノミクス』の一部を使った教材の実例を紹介された。

そのうえで、行動経済学の可能性と限界や課題を、次の5点にまとめられました。一つは、生徒が意欲的に参加できるユニバーサル型の授業が可能になる素材が多くあること、第二は、理性より感情が先立った、様々な経済現象や経済問題を分析することが可能であること、第三は、行動倫理、生命倫理的に扱うことも可能であり、道徳でも活用出来ること、第四は、中学校での学習では、市場経済原理を理解することが基本であり、行動経済学はそれを補完するものとして位置付けるのが妥当ということ、第五は、扱う場合は個人の行動や心構えではなく、社会の仕組みを読み解き、それに由来する構造的で本質的な問題を考えることが重要、という5点でした。

(2)「新科目「公共」にむけてー行動経済学を踏まえて授業実践ー」(杉浦光紀先生)

杉浦先生は、最初に、「公共」の扉の位置付け、行動経済学をこのように理解したという内容の説明のあとに、会場の参加者に「最後通牒ゲーム」を行なってもらったうえで、2年生対象「倫理」での授業紹介を行ないました。

スミスの『道徳感情論』で登場する、他者(公平な観察者)からの共感を求める感情が大切で、そのために自己規制や公平なルールが必要であるという主張の理解のために、このゲームをつかって、利他性について考えさせる授業です。この授業の生徒の反応とともに、『ヘンテコノミクス』の「保母さんの名案」の箇所を使った授業での生徒の多彩な反応も紹介されました。

(3)「新科目「公共」に向けてー起業と金融教育で活かす行動経済学の授業実践ー」(大塚雅之先生)

大塚先生は、勤務校での学校選択科目CSⅡ(2年生対象)で実践したもので、新科目「公共」の内容を踏まえて、「市場経済の機能と限界」「職業選択」「金融の働き」の三つの主題をからめた単元構成で開発した授業を紹介されました。

全体は、6次構成で、第1次で分業と交換ゲーム、第2次で職業選択とAI、第3次で社会の変化と技術革新を学んだあとに、第4次金融、第5次生徒の起業案の発表、第6次金融の貸付ゲームという構成になっています。

今回はその後半の第4次からの部分で、行動経済の知見を活用した授業が紹介されました。

事前のアンケートで、金融に関する正確な知見を忘れてしまっていた生徒たちが第4次金融の授業、さらに第5次での起業案の提示、第6次での起業プランへの融資作業の「貸付ゲーム」を通して、理解を深めていった様子が報告されました。

(4)その後の討論では、各先生の授業提案に対して安藤先生からのコメントを

いただき、それをもとに三人の先生方と安藤先生との討論、さらにフロアからの質疑と密度の濃い、充実したやりとりがありました。

内容の詳細はまとまり次第 HP にアップいたします。

---

## 【 2 】定例部会のご案内

---

<定例部会のお知らせです。(開催順)>

■東京部会(No.108)を開催します。

日時:2019年4月25日(木)19時00分~21時00分

場所:慶応義塾大学三田キャンパス研究棟 446号会議室

■大阪部会(No.63)を開催します。

日時:2019年4月27日(土) 18時00分~20時00分

場所:同志社大学 大阪サテライト(予定)

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17階

■札幌部会(No.20)を開催します。

日時:2019年6月8日(土) 14時30分~17時00分

場所:キャリアバンク セミナールーム(予定)

札幌市中央区北 5条西 5丁目 7 Sapporo55ビル 5階

---

## 【 3 】授業のヒント「授業を始める前に」

---

新学期。新しい教科書。生徒たちとの新しい出会い。さてこれからどんな授業にするか、担当の先生たちもフレッシュな気持ちになっていると思います。そこで、今回は授業を始める前に考えたいことを何点か提起してみたいと思います。

### (1)教科書を通読する

教科書を教員が読むのは、当たり前と言えば当たり前ですが、意外に忙しさにかまけて、教える部分だけを見て授業準備に入ることが多いのではないかと思います。四月当初も忙しいのですが、それでも一年の計で、使う教科書を通読することで全体をもう一度見直すことができるはずです。

読解力の低下が問題になっていますが、少なくとも中学卒業レベルの教科書の本文を読める力を付けさせることが、私達教員にもとめられる教科指導上の使命とすると、教える自分自身がどれだけ教科書を読みこなせているか、それを確認するためにもやってみる価値はあるのではないかと思います。

その際、中学校の先生は小学校の教科書を、高校の先生は中学校の教科書を手元において自分の担当する学年の教科書を読むと、目の前の生徒がどんな勉強をしてきたのかが、具体的なイメージとしてつかめます。

(教科書は地域の販売店でしか入手できませんから、ちょっと大変ですが、下記の販売店では入手できます。)

<http://www.text-kyoukyuu.or.jp/otoiawase.html>

高校教員だった私から見て、今の中学校の教科書は大変良く出来ています。図版、写真、そして各種のコラムなどこれをグレードアップすれば高校の教室でも十分に使える豊富さです。

逆に、そこから同じテーマが何度も出てくるという重複も発見できるはずで、どこに力点を置くのかの見通しを立てることもできます。

## (2)供給と需要から内容を選び出す

中学校では教科書をほぼカバーすることが前提での授業プログラムが組まれますが、高等学校の場合は、実授業数からみて、内容が盛り込まれすぎています。

例えば、3年生必修で置かれている「政治・経済」の場合など、早い学校では12月段階で通常の授業は終わり、あとは自宅学習などになるところもあります。

次期の新科目「公共」も2単位で盛りだくさんの内容が詰め込まれています。

だから、冒頭の「公共の扉」の「トビラ」をいかに開くかが話題になるわけです。

こんな矛盾をみんな知っているのに、対外的には全部扱っていますよと表示をしなければいけないのですから、学校自らがダブルスタンダードの見本を示しているということでもあるわけです。

そうなった場合は、希少性と選択の世界になります。そんなとき、大抵は教員のサイドからの授業構成になりますが、一度、生徒の要望を聞いて、授業を組み立てることがあっても良いかも知れません。いわば需要サイドからの授業構成を考えるとということです。

教育ですから、いやでもやらなければならない、好きなものをつまみ食いはダメという論理は当然なりたちますが、そういったサプライサイドの論理だけでなく、ディマンドサイドの要望をリサーチしてみることを4月の当初にやってみたらどうでしょう。

授業の場合、需要と供給のマッチしたところが最適配分点になる保証があるわけではありませんが、発想の転換も必要かもしれません。

## (3)学問的な背景に注目する

先ほど今の教科書は良く出来ていると書きましたが、その半面、雑多な内容が整理されずに入っていたり、研究の進展ですでに古くなっている用語や理論など

がのこっています。

それは、これを入れないと現場の先生から文句がくる、売れないということもあり、そのまま入っているもので、通読することで、「なんか変だ」と感じることで、発見できるかもしれません。

(この種の教科書の問題点に関しては、このコラムでも何回か触れていますので、バックナンバーを見ていただくと有り難いところです。例えば 114 号では、価格の違いの説明を要求する中学校の教科書を取り上げています。)

<http://www.econ-edu.net/reference/newsletter.html>

そんなときには、その引っかけた部分を今度は大学レベルのテキストで確認することを勧めます。

これは四月当初には無理でしょうから、手元にその種の基本文献をおいて随時参照するか、思い切ってどこかで一挙に通読するとよいかもしれません。経済でいえば、神取道宏氏の『ミクロ経済学の力』(日本評論社)では、想定読者の対象の最後に「知的好奇心にあふれた高校 2・3 年生」をあげています。

高校生が読むのなら、知的好奇心あふれる高校教師が読まないわけにはゆかないと言ったら言い過ぎですが、学習指導要領に縛られている教科書を使いこなすと同時に相対化するためにも、おすすめです。

(4)教科書を読み解くには

最後は、宣伝です。

こんな手間暇をかける時間的余裕はないという現場の現実を少しでも打ち破るために、ネットワークでは、夏の経済教室や春の経済教室などで「教科書を読み解く」シリーズの講座を提供してきました。

ちょっとでも、経済学の知識を知っていることで、今やっている授業の位置づけが明確になり、内容が深まります。また、エコノミストと共同でつくる授業の例なども紹介されています。

今夏も経済教室の企画が進んでいます。ぜひご参加ください。(新井)

【 4 】編集後記(みみずのたはこと)

教科書を読もうという提案を書きましたが、隗より始めよということで、この休みに中学の公民の教科書を通読してみました。感想は、良く出来ている。その勢いで、高校の「政治・経済」を二冊読んで見ました。一つは中学並みに良く出来ている。もう一冊は、古典的。

さらに、今度は出たての芦部信喜『憲法第 7 版』(岩波書店)に挑戦しました。

これは一日がかり。感想は、碩学の基本書はさすがである。でも、最終的な感想は「疲れた」でした。

経済の基本書に挑戦していないのはご愛敬か。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページより  
お手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====

◆◇-----

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

----- (C) Network for Economic Education ◆◇